

# Impression

参加した葛巻高校の生徒9人から  
感想を聞きました  
(敬称略)

ドイツ研修でたくさんの経験をする事ができました。特にホームステイを通して、ドイツの文化や日本とは違う生活スタイルを知ることができました。ホストファミリーやたくさんの人にお世話になりました。感謝の気持ちを忘れず、これからの生活に生かしていきたいです。 服部奏(1年)



ドイツ研修で一番大変だったことは、ホストファミリーの皆さんとのコミュニケーションです。少しの発音の違いで意味が通じなかったりして大変でした。でも一緒に生活してみて、伝えたいと思って頑張れば思いが伝わることや、英会話の楽しさを学ぶことができました。 華名恭子(1年)



ドイツ研修に参加できてとても幸せでした。一日一日がとても心に残っています。授業や買い物、ハロウィン、楽しいことばかりでした。ホームステイ先の子が習っているピアノやオペラ、社交ダンスなどいろいろ見ることができました。欧州の文化に触れ充実した研修でした。 森さくら(1年)



ドイツで過ごした時間を振り返ると、一秒一秒がとっても楽しかったです。初めは不安だらけでしたが、そのことも忘れるぐらいでした。特に私のたどたどしい英語でも、パートナーとたくさん会話できたことがうれしかったです。ドイツで過ごした時間は、私の一生の宝物です。 三澤栞(2年)



ホームステイ先で日本の料理に挑戦しました。そばとお好み焼きを作りました。お土産でお椀と箸をあげたので、早速使ってくれました。箸の使い方は難しいようでしたが、私が教えると頑張って箸で食べていました。「おいしい」と言ってもらえて本当にうれしかったです。 川戸海咲(2年)



僕はドイツに行き、ホームステイ先の僕らと同じ学年の子とその友達でサッカーをしました。ドイツの人たちは日本人と違って背も高く、フィジカル(身体能力)もすごく強かったです。ゲーム形式でやって勝ち負け関係なく、心の底から楽しむことができました。 千葉本気(2年)



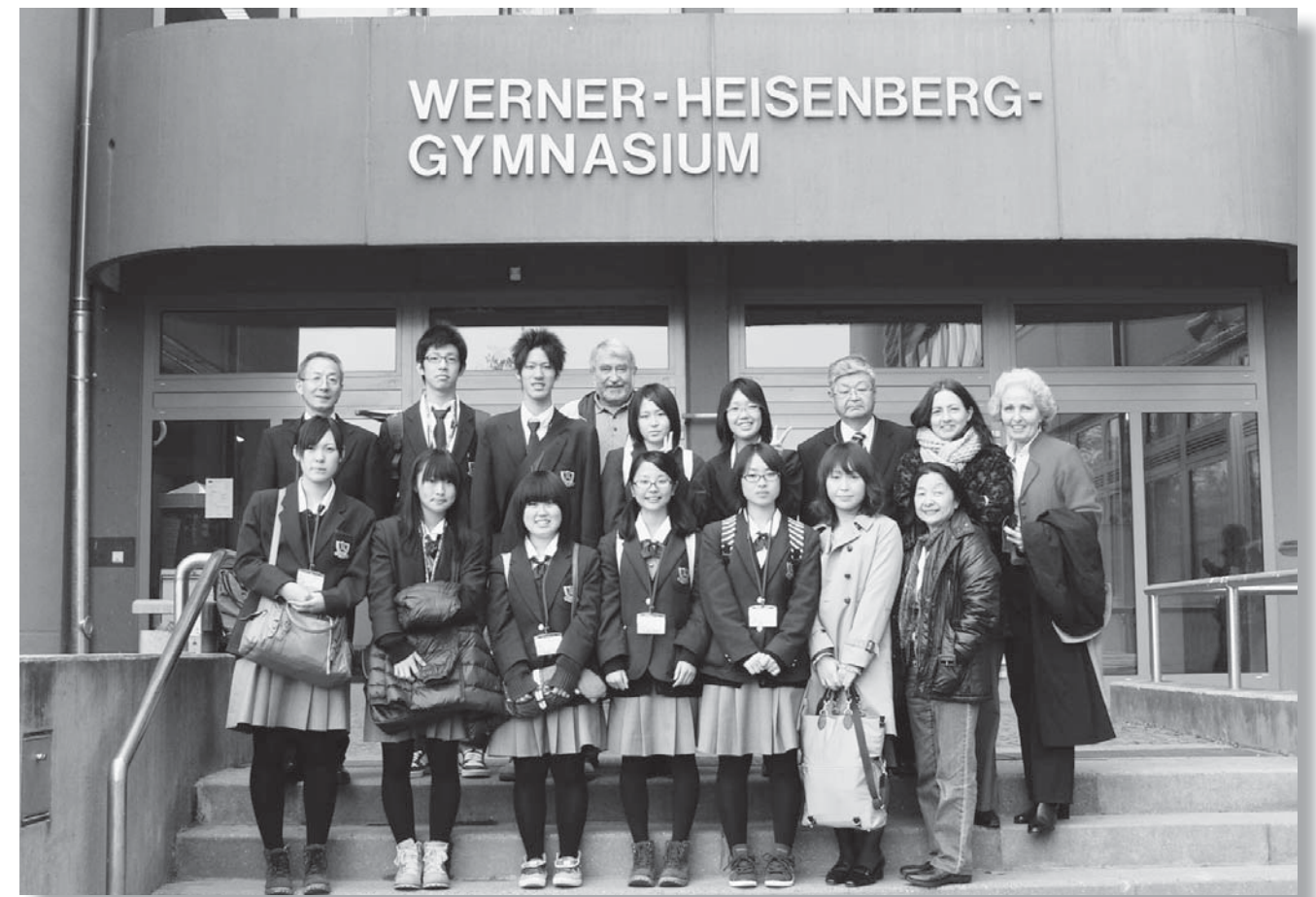
初めてホームステイ先に行ったときは、とても不安で会話もあまり長く続きませんでした。しかし、ホストファミリーの皆さんがいろんなところへ連れて行ってくれたり、たくさん私に話しかけてくれたりして、とても楽しく過ごすことができました。 村田あすか(2年)



ドイツで特に感じたのは、英会話の楽しさです。単に英語での会話が楽しいのではなく、言葉の壁は少しあるものの、感情や物事を一緒に分かち合えたのがとても楽しく、うれしく感じました。もっと勉強をして、いつかまたホストファミリーに会いに行きたいです。 前野美沙(2年)



ドイツに着いてまず時差が大変でした。ホームステイはとても不安でしたが、みんなやさしく楽しかったです。またホストファミリーの子どもやその友達と一緒にサッカーができて、とても楽しかったです。やっぱり本場のウィナーはとてもおいしかったです。 桂川輝(2年)



葛巻町からの参加者と現地を案内して下さったボランティアの方々

第15回欧州視察ミルクとワインの旅

## ホームステイで充実した研修

葛巻高原食品加工(株)とくずまき高原国際交流推進協議会(中崎和久会長)が主催した第15回欧州視察「ミルクとワインの旅」は10月25日から11月3日までの10日間の日程で行われ、12人の参加者はヨーロッパの旅を満喫しました。

今回の訪問は、女鹿國芳さん(新町)を団長に、葛巻高校の高松博明校長と藤澤仁美教諭が、1・2年生の生徒9人を引率しました。

生徒たちは、バードデュルクハイムで6日間、ホームステイをしながら地元の高校の授業に参加しました。滞在中の30日にはハロウィンもあり、本場のイベントを体験することができました。

団長の女鹿さんは、この視察に今回で10回目の参加。ドイツとの交流に貢献されたという事で、バードデュルクハイム市から感謝状を受けました。

